

鶏肉情勢

平成30年8月3日 更新

全農チキンフーズ㈱

項目	内容
供	1. 国内 (1) 生産・処理動向調査((一社)日本食鳥協会7月下旬実施)によると、6月の推計実績は、処理羽数57,098千羽(前年比100.6%)・処理重量171.5千ト(同99.1%)となった。前月時点での計画は、稼働日数の減少や坪羽数の減少、気温上昇の影響等により処理羽数は同100.3%、処理重量が同97.7%と見込んでいたがともに上回った。特に北海道・東北地区の処理重量が同96.0%から同97.8%と上振れたことや、廃棄割合の減少(前年差△0.44%)等も要因と思われる。 (2) 7-9月で、7月の処理羽数・重量は各地区全て前年を上回る計画となっている。8月も前年冷夏等で増体が良かった北海道・東北地区が前年比99.0%と下回るも、全国的には同101.6%と計画されている。9月は曜日回りで稼働日が前年より少ないこと等で、全て前年を下回ると計画されている。主要産地の出荷計画(7月12日公表)によると、10月の処理羽数は同103.5%を見込んでいるため、9月の処理羽数・重量減少は稼働日減によるものだけで、9・10月通してみれば1.0%程度は上回るものと考えられる。
	2. 輸入 (1) 財務省7月27日発表の貿易統計によると6月の鶏肉(原料肉)輸入量は43.9千ト。前年比87.4%と減少したものの累計(1-6月)では279.0千トとなり依然高水準となっている。国別輸入量では、ブラジルが29.9千ト(前年比82.5%:丸鶏含む)、タイが12.1千ト(同105.7%)となっている。日本食肉輸出入協会は7月18日開催の鶏肉輸入動向検討委員会で7月は43.3千ト(同106.2%)、8月は35.7千ト(同68.6%)と予測し、「ブラジルではストライキなどの影響による生産量の減少に伴って相場が上昇してきたが、生産数量および船積数量がある程度回復しつつあることから、今後は価格も徐々にではあるが下がっていくと考えられる。タイ産についても価格の上昇が続いているが、ブラジル産価格の低下に伴い今後は落ち着いていくと考えられる。」とコメントしている。 (2) 鶏肉調整品の6月輸入量は41.1千ト(前年比93.3%)。中国は前年並みの17.5千ト(同99.9%)も、タイが23.4千ト(同89.3%)と昨年急増の反動で大幅に減少したかたちとなった。全体累計(1-6月)では239.9千トとなり同107.2%の増加となった。今後も、唐揚げ・サラダチキンや串物等コンビニ・惣菜売り場向けの需要拡大は継続すると考えられ、この輸入拡大が精肉売り場にどの様に影響するのか注視が必要と思われる。
給	1. 家計消費 (1) 総務省統計局発表の家計調査報告によると、5月の全国一世帯当たりの生鮮肉消費(購入)金額は、節約志向が続くなか前年比102.3%の6,055円と伸びた。うち鶏肉についても数量1,397g(前年比106.2%)、金額も1,316円(同102.3%)と前年を上回った。しかしながら単価については、まだ在庫過多であったブラジル解凍ももや国産むね肉の特売が多かったことや、さらに相場安等から前年比△3.7%と下回った。
	2. 量販・卸 (1) スーパー3団体によると「6月の畜産品売上高は全店ベースで前年比1.6%増の997億円で生鮮3部門唯一前年を上回った。土曜日が前年に比べ1日多く、牛肉はブランド牛・輸入牛を中心とした大容量商品、豚肉は気温の上昇等で冷しゃぶ用等が好調。鶏肉についてもサラダチキン用のむね肉等が好調を維持しているものの単価の下落で伸び悩んだ店舗も散見された。」と報告があった。
	3. 業務・加工筋 (1) 日本ハム・ソーセージ工業協同組合調べによる5月度の鶏肉加工品仕向肉量は、前月同様にサラダチキンや唐揚げの需要拡大等による国内製造拡大を背景に、前年比101.5%の4.61千ト。うち国内物は同96.0%の3.75千トと下回ったものの輸入物が安価なタイ産むね肉の使用増加等で同135.1%の0.86千トと報告された。国産むね肉価格が下落してきたが、規格のこともあり今後も輸入物の比率が上がる事が考えられる。
在	1. 30年5月 (1) 国内生産量は前月対比で4.1千ト増加し、輸入量は同2.4千ト減少した。5月の推計期末在庫は国産30.7千ト(前年比118.5%)、輸入品142.3千ト(同122.2%)合計173.0千ト(同121.5%)、前月比で2.3千ト増加となった。特に国産品は生産好調、売行き鈍化で在庫が増加している。推定出回りは、国産3.2千ト、輸入品3.3千トとともに減少している。
	2. 見通し (1) 6月は国産生産量は前月比で5.9千ト・輸入量3.2千ト、それぞれ減少するものの、安い輸入チルドボークの出回りや暑さの影響等もあり依然として需要は弱含みと考えられ、出回り量も減少するものと思われる。よって、在庫は引き続き高水準で推移すると考えられる。 (2) (独)農畜産業振興機構の需給予測では、7月は前月比で生産量が5.7千ト減少し、輸入量特にブラジルからがやや回復し3.3千トの増加、出回り量も2.3千ト増加することにより、国産・輸入品合計で11.7千ト減少の154.3千トで昨年8月以来の150千ト台になるとされている。また、8月は生産量2.8千ト・出回り量2.9千ト共に減少、尚且つ輸入量がブラジルの生産量減少等もあり7.6千ト減少するとの予測から期末在庫は19.1千ト減少の135.2千トで前年からも85.6%と大幅に減少すると予測されているが、需要の弱さが気がかりである。
相	1. 7月動向 (1) 7月の平均相場は、もも肉548円/kg(前月比16円下げ)・むね肉265円/kg(同7円下げ)で、正肉合計で813円/kgと前月比23円下げ、前年比で102円の下げとなった。もも肉は、猛暑等で末端販売の緩みが先月から続いているため下げ基調は変わらず月初め550円から月末545円と5円の下げとなった。むね肉は、サラダチキン等の需要は継続しており月初・月末とも264円と保合いとなった。また正肉合計では一時800円/kgを割る(799円/kg)日も見受けられた。
	2. 8月見通 (1) 7月に引き続き猛暑となる予報から、もも肉は下げ基調で推移するものの小幅の下げで月平均540円と予測する。また、むね肉もチキンカツ・焼肉用・サラダチキン等の需要もあり、保合い圏内の265円と予測する。

実績

生産状況 単位:千羽、千トン、%

	H30年6月推計実績		H30年累計		H30年7月計画		H30年8月計画		H30年9月計画	
	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比	数量	前年比
入雛羽数	58,602	101.4%	358,671	101.6%	59,275	102.1%	64,077	100.9%	62,246	97.5%
処理羽数	57,098	100.6%	345,929	102.7%	55,525	102.9%	55,929	101.9%	54,849	99.5%
処理重量	171.5	99.1%	1,035.8	102.5%	162.1	101.6%	162.6	101.6%	160.6	98.4%

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」

輸入動向 単位:千トン、%

品名	鶏肉			調製品			合計			比率
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	
履歴										
H30年3月	43.4	37.3	116.3	36.1	39.9	90.3	79.5	77.2	102.9	54.6 45.4
H30年4月	49.6	48.7	101.8	41.6	36.7	113.4	91.2	85.4	106.8	54.4 45.6
H30年5月	47.1	46.1	102.2	42.3	38.9	108.6	89.4	85.0	105.1	52.7 47.3
H30年6月	43.9	50.2	87.4	41.1	44.0	93.3	85.0	94.3	90.2	51.6 48.4
H30年累計	279.0	259.9	107.4	239.9	223.7	107.2	518.9	483.6	107.3	53.8 46.2

※参考資料:全国食鳥新聞発行「PMN」、全国食鳥新聞

消費動向(2人以上の世帯) 単位:グラム、円、%

履歴	数量			金額		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年3月	1,345	1,385	97.1	1,320	1,307	101.0
H30年4月	1,378	1,327	103.8	1,281	1,268	101.0
H30年5月	1,397	1,316	106.2	1,316	1,287	102.3
H30年平均	1,369	1,349	101.5	1,322	1,287	102.7

※参考資料:総務省統計局HP

相場(年別・暦年) 単位:円

	もも肉	むね肉	計
H24年	563	189	752
H25年	583	246	829
H26年	626	294	920
H27年	639	336	975
H28年	621	255	876
H29年	626	315	941

在庫状況 単位:千トン、%

履歴	国産			輸入品			合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年2月	27.0	23.9	112.6	160.0	115.4	138.7	187.0	139.3	134.2
H30年3月	28.4	23.1	123.2	148.1	112.7	131.5	176.6	135.8	130.0
H30年4月	25.9	25.2	102.9	144.8	110.6	130.9	170.7	135.8	125.7
H30年5月	30.7	25.9	118.5	142.3	116.5	122.2	173.0	142.4	121.5

※実績参考資料:畜産日報、農畜産業振興機構

相場(月別) 単位:円、%

品名	もも肉			むね肉			正肉合計		
	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比	当年	前年	前年比
H30年4月	608	658	92.4	295	325	90.8	903	983	91.9
H30年5月	585	645	90.7	282	337	83.7	867	982	88.3
H30年6月	564	627	90.0	272	338	80.5	836	965	86.6
H30年7月	548	587	93.4	265	328	80.8	813	915	88.9
H30年8月	(540)	563	95.9	(265)	323	82.0	(805)	886	90.9
H30年9月	(550)	560	98.2	(270)	324	83.3	(820)	884	92.8
H30年平均	611	651	93.9	291	311	93.6	902	962	93.8

※()は見通し ※1-7月平均